

(3) 町村合併とスポ少 35 周年がきっかけ～や・さ・かイキイキ倶楽部（岐阜県中津川市）

や・さ・かイキイキ倶楽部は、長野県境の旧3町村が平成17年の町村合併により、一つの行政区（人口約8,300人）となったことを機に誕生したばかりの会員数約520人のクラブです。この町村合併は、県境を越えた町村合併として、全国的な話題にもなりました。

1. クラブ設立の経緯

平成14年度からの学校週5日制の導入により、土・日曜日子ども達の過ごし方が心配されたため、スポーツ少年団（以下、スポ少）では、中学校の部活動に応じた活動を始めました。

具体的には、中学校の部活動をスポ少の活動とリンクさせ一環指導体制構築に繋げていきたいという意図のもとに、現段階では、弓道・剣道・柔道・ソフトテニス・陸上競技・（スキー・スノーボード）などのサークルが、小学生・中学生と一緒に活動をしています。

また、小学校低学年を対象とする公民館事業として「桜の湖チャレンジャーわくわく体験クラブ」の活動が計画・実践されることになりました。

その後、平成17年の合併で、山口村（旧長野県）・坂下町・川上村の中学校が統合されました。その中学校区の下に総合型地域スポーツクラブを設立するという考えが芽生え、検討を重ねた結果、3地域の関係諸団体が集結して設立することが望ましいとの見解に至りました。



はなのこチャレンジャー

2. スポ少を核とした設立への取組み

その頃、スポ少は、中学校の統合に併せて山口村、坂下町、川上村の頭文字をとって「やさかスポーツ少年団」として生まれ変わり活発な活動を行っていた時期でした。

平成20年にスポ少は設立35周年を迎えることから、それに併せて総合型クラブに移行したいという関係者の思いが大きなきっかけとなり、スポ少を軸として体育指導委員の協力を得ながら地区体協、わくわく体験クラブ等に働きかけ、その輪を広げていきました。

平成13年度文部科学省ならびに総合型地域スポーツクラブ育成協議会が実施した「総合型地域スポーツクラブマネージャー養成講習会」を修了された森 益基氏（現倶楽部会長）がスポ少の役員であったことから、森氏が準備委員長となり、スポ少を核としたクラブ設立への取組みが始まりました。

このように関係団体の理解を容易にした背景は、市町村合併によりスポ少や地区体協への活動助成費が段階的に削減されることが予測され、新たな方向性を構築しなければならないということ等がありました。



ソフトバレーボール大会

3. スポ少、地区体協、体指による新たな枠組みの構築

スポーツ環境の新たな枠組みとして期待される「総合型クラブづくり」にとって、最大の難関である既存団体との関わりを、各団体が持つ将来不安を共有しながらうまく調整し、スポ少、地区体育協会、体育指導委員の3者が肩を組み、新たな枠組みを見事に構築したことは、注目に値することではないかと思えます。

クラブのネーミングは、旧町村の頭文字をあしらったものですが、このクラブの設立は、時代を先読みした思いがあったこと、行政改革の流れの中で、地域の将来への様々な思いを共有できたこと等があって、必然的に「総合型クラブ」に行き着いたのではないかと思えます。



春の遠足（夕森公園）

（武藤哲夫 岐阜県クラブ育成アドバイザー）

【や・さ・かイキイキ倶楽部・プロフィール】

1. 設立

年月：平成21年2月28日

設立母体であるスポ少の設立35周年を機に総合型クラブ設立の気運が高まった。

2. 地域

人口：やさか地域の人口 約8,300人

地域特性：長野県境にあり、長野県山口村が岐阜県に編入合併して誕生した山村地域の行政区

3. クラブ

会員数：約520人

年間予算：約300万円

特徴：旧3町村のほとんどのスポーツ団体を取り込む形で、岐阜県独自の育成指定クラブとして設立されたクラブで、文化活動も視野にあるため、クラブ名にスポーツの文字を入れていない。

4. 連絡先・事務局

〒509-9232 岐阜県中津川市坂下1512-1 坂下総合体育館内

TEL 0573-75-3335 FAX 0573-75-5376

*平成21年12月まで体育館改修工事のため電話は繋がりませんので、下記にご連絡ください。

坂下総合事務所企画振興課 TEL 0573-75-2111

関連リンク：武藤哲夫氏プロフィール紹介

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/24.html>